

## 日本発ドイツ便り～運賃0ユーロの航空券

以前に、「ドイツで安いもの」でご紹介した、「格安航空券」。今回の旅行で初めて利用してみました。

行き先は、ウィーン ケルンの往復。ちょっと日本の感覚とは違いますが、オーストリア ドイツということで、一応「国際線」です。金曜日の朝にウィーンを出発、土曜日の午後にケルンを出発して、18:00 頃にウィーンに到着という1泊2日の小旅行です。

5月の搭乗分を、2月ごろに「運賃0ユーロ！」キャンペーンのときに購入しました。購入方法は、オンラインで、決済はクレジットカード。チケットはE-チケットで、送られてくる予約確認書を当日空港で、身分証明書(パスポート)と一緒に提示する。という本当に簡単なものでした。

もちろん「0ユーロ」というのは相当極端なキャンペーンで、普段は19ユーロから、とか9ユーロとか、キャンペーンをやっています。(あくまでも2ヶ月以上早く買う人用のキャンペーンで、前日なんかには買おうと思うと、やっぱり片道100ユーロくらいします。)  
0ユーロといっても0なのは「航空運賃」のみで、その他の「空港使用料」とか「航空燃料追加料金」とか「航空保安税」なんかの税金関係は支払いの必要があるので、今回上記の往復にかかったコストは、65ユーロ程度(1万円くらい)でした。

で、もちろん、安いからといって、航空機に問題があるわけでも安全上問題があるわけでもなんでもなく、不要なサービスを極力簡素化している。という感じでした。  
安い航空会社と日本で聞くと、イメージするのは、少ない路線で、少ない航空機を最大限有効活用して…。という感じですが、今回乗った、この会社、ヨーロッパ内にすごい数ある格安航空会社の中では大手で、ケルンをベースに、ヨーロッパ内、就航している都市が60近く(ドイツ国内線も含む)という大きなものでした。(ということは、0ユーロキャンペーンのときはこのすべての路線が対象なので、たとえば、ロシアやギリシャ、トルコにだって往復0ユーロで飛べる、ということになります。)

さて、チェックイン。普通にチェックインカウンターに並んでチェックイン。航空券を渡されると、なんと、座席番号のところ为空欄になっています。「これどういうこと？」と聞くと「自由席だから。」とのこと。飛行機で自由席かぁ…。

そして、搭乗開始。航空機まではゲートからバスで移動するのですが、何気なく並んでいたら、私の航空券を見るなり、「あなたは次のバス」と言われてしまいました。  
一応、不公平感(?)の無いように、チェックインした順番のみ記載されていて、たとえば、1~50番まで、とか、先に搭乗して、好きな席を選んでよい、というもの。



今回乗った飛行機です。ほぼ満席で、適当なところで席を確保。隣のおばちゃんは、ドイツ人(オーストリア人?)らしく、私が暇そうにしていると「雑誌でも読む?」と芸能人のゴシップ記事満載の雑誌貸してくれました。ありがとう。

全員が乗り込むと、客室乗務員がバードウォッチングならぬ、カウント機(正確な名称が分かりません。)で、カチカチと人数確認。そしてその後離陸。

水平飛行に入ると、通常飲み物のサービスとなりますが、ドリンクその他はすべて新幹線のように機内販売になります。結構いろいろ選択肢があって、ピザまでオーダーできるのにはちょっと驚いた。飛行機グッズの販売までありました。



帰りの飛行機。実は同じ航空会社なのですが、これは機体全体が、とあるホテルの広告になっています。うーん、こういうことも、運賃を下げる理由になるのかぁ。と、興味津々です。

この0ユーロ航空券、もちろん早く日程を決めなきゃいけないし、変更になるかもしれない、というリスクはありますが、1年の休暇の予定を半年以上も前に決めてしまう、ヨーロッパの人たちにはものすごく歓迎されています。でもそれでも予定の変更はつきもの。これらの格安航空券、キャンセルはできませんが、変更ならできるんです！とはいえ、「変更したい日に、すでに購入している運賃と同じ運賃での空きがあれば」という条件はつきますが。

付随するサービスもなかなか充実していて、予約後のページからなら、行き先の空港近くのホテルを格安で予約できるとか、レンタカーの割引があるとか、ドイツの出発地から空港まで遠い人は、空港まで往復でDB(ドイツ鉄道)の割引が適応されるとか、いろいろあります。

今回初めて格安航空会社を使ってみて、「こんなに安くていいの？」という感じでした。飛行機の最重要課題、安全性 定時性がクリアできていて、なおかつ「安い」ということなら、言うことないです。なんだか今後も機会があれば、利用してしまいそうです。

ちょっと早めに予定を立てて、かなりお得な旅行、してみませんか？